

令和2年度に 実施した主な事業

項目	主な事業名	金額
総務費	市民バス運行管理事業	9,011万円
	ホワイトキューブZEB化推進改修事業	3億3,585万円
	特別定額給付金給付事業	33億5,662万円
民生費	障害者総合支援事業	7億2,637万円
	ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業	5,669万円
	子ども・心身障害者医療費助成事業	1億4,198万円
	子育て支援事業	3,453万円
衛生費	白石市外二町組合補助金等	8億9,744万円
	予防接種事業	7,903万円
	放射能対策事業	1,583万円
	災害廃棄物処理事業	8,881万円
水産林業費	地籍調査事業	1億3,241万円
	有害鳥獣対策事業	3,168万円

項目	主な事業名	金額
商工費	6次産業化チャレンジ法人支援事業	7,650万円
	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付事業	6,366万円
	新型コロナウイルス経済対策割増商品券事業	3,545万円
	事業継続給付金事業	9,917万円
	商品券配布事業	7,731万円
土木費	地方道路整備事業	2億1,464万円
	公園施設長寿命化対策事業(益岡公園野球場の全面改修)	1億9,228万円
	中河原白石沖線街路事業	5億4,418万円
消防費	消防団等運営事業	7,916万円
教育費	外国語・国際理解教育推進事業	2,437万円
	小中学校学習用コンピューター整備事業	1億2,452万円
	情報通信ネットワーク環境施設整備事業	9,790万円
震災復興費	農業施設災害復旧事業	1億7,027万円
	公共土木施設災害復旧事業	2億9,720万円



▲小・中学校全児童・生徒に1人1台端末を整備【教育費】



▲全面改修され4月から利用を開始した益岡公園野球場【土木費】

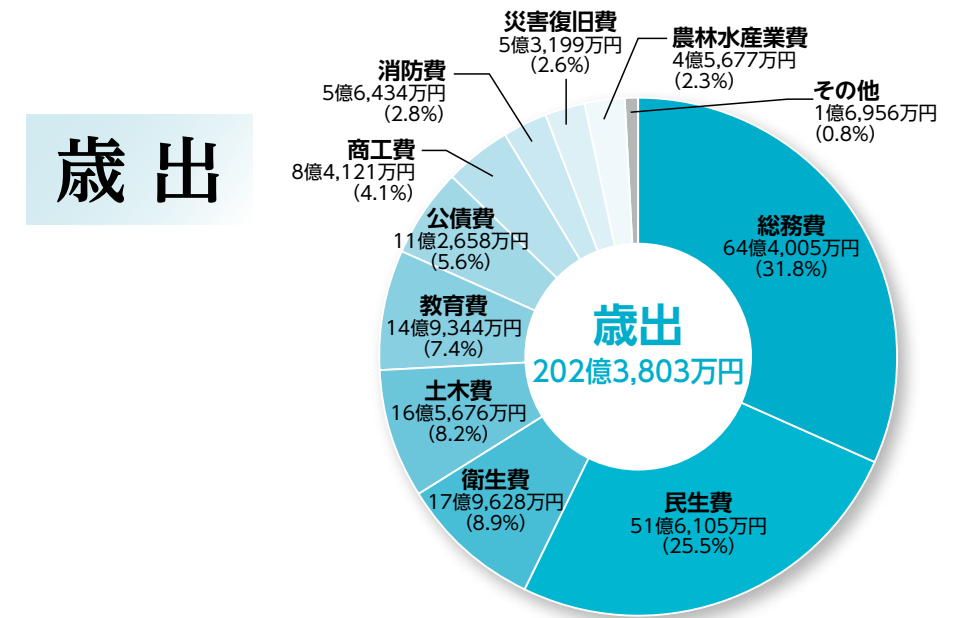
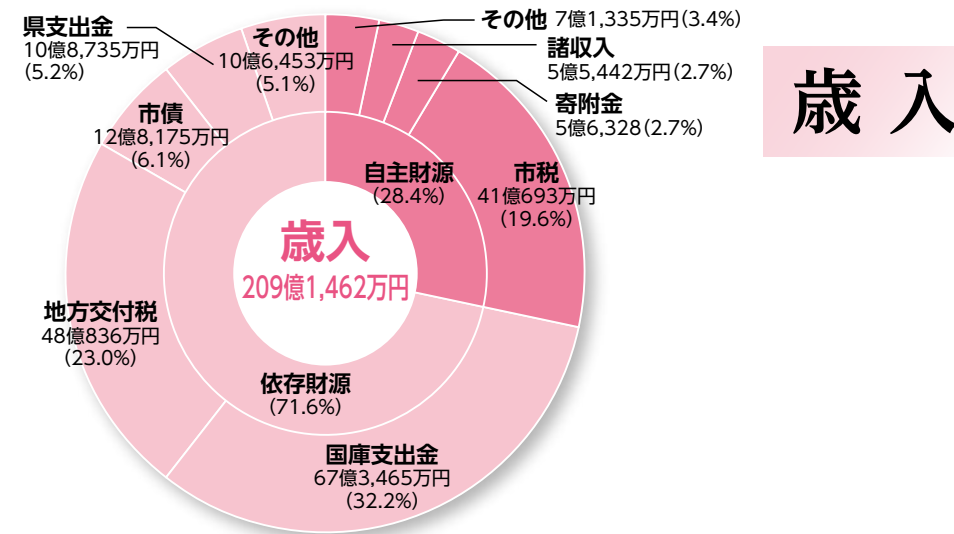


▲全国民に1人10万円給付された特別定額給付金【総務費】

歳出
総務費が約37・2億円の増加
目的別の主な増減では、特別定額給付金給付事業やホワイトキューブZEB化推進改修事業により総務費が大幅に増加したほか、中河原白石沖線街路事業や公園施設長寿命化対策事業により土木費が増加し、また、地方消費税交付金や環境性能割交付金も増加しました。一方、特別交付税及び震災復興特別交付税の減により、地方交付税全体は減少しました。

歳入
国庫支出金が約49億円の増加
歳入は、自主財源と依存財源に大別できます。自主財源は、ふるさと納税が引き続き多くの方から応援いただいたことにより、寄附金が昨年とほぼ同額となった一方、繰入金、市税などは減少しました。依存財源は、新型コロナウイルス対策や令和元年東日本台風の影響復旧事業に関連し、国庫支出金や県支出金、地方債が増加し、また、地方消費税交付金や環境性能割交付金も増加しました。一方、特別交付税及び震災復興特別交付税の減により、地方交付税全体は減少しました。

決算



■一般会計決算

項目	令和2年度	令和元年度	前年度比較
歳入(収入)	209億1,462万円	157億9,515万円	51億1,947万円 32.4%
歳出(支出)	202億3,803万円	151億2,639万円	51億1,164万円 33.8%
形式収支(差引額)	6億7,659万円	6億6,876万円	783万円 1.2%
翌年度繰越財源	1億7,284万円	1億9,679万円	△2,395万円 △12.2%
実質収支	5億 375万円	4億7,197万円	3,178万円 6.7%

■全会計決算

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)	収支差引額		
一般会計	209億1,462万円	202億3,803万円	6億7,659万円		
特別会計	国民健康保険	35億8,568万円	35億3,582万円	4,986万円	
	介護保険	38億6,989万円	37億4,480万円	1億2,509万円	
	後期高齢者医療	4億3,922万円	4億1,386万円	2,536万円	
公営企業会計	水道事業	収益的	9億5,097万円	8億6,327万円	8,770万円
		資本的	1億5,722万円	4億2,824万円	△2億7,102万円
	下水道事業	収益的	10億6,812万円	9億2,124万円	1億4,688万円
		資本的	5億3,838万円	9億5,521万円	△4億1,683万円
合計	315億2,410万円	311億 47万円	4億2,363万円		

※収益的=営業活動などに伴う収支、資本的=施設の建設や改良に伴う収支
 ※上の表中、公営企業会計の収支には消費税及び地方消費税が含まれています。
 ※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

令和2年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算について、9月市議会定例会に議案を提出し、全会計とも認定されました。一般会計の歳入総額は、209億1,462万円(前年度比32・4%増)で、歳出総額は、202億3,803万円(前年度比33・8%増)となり、3特別会計と2企業会計を合わせた歳入総額は、315億2,410万円(同19・4%増)で、歳出総額は311億47万円(同1・2%増)となりました。また、一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた額は6億7,659万円(同1・2%増)で、このうち翌年度へ繰り越した事業に必要なお金1億7,284万円を差し引いた実質的な収支額は、5億3,178万円(同6・7%増)となりました。一般会計決算の概要をお知らせします。